



# 市政ニュース

## 子育て世帯を地域で支援

### つどいの広場事業

沖縄県那覇市



つどいの広場を訪れた親子

子育てにあたり——大家族が当然の時代は、子育て経験のある先輩世代が同居しており、子どもの体調変化などに対し、適切に対応することが可能でした。しかし、現在の我が国社会では核家族化が進行し、地域とのつながりが希薄になってきていることから、子育て世帯の負担感が増えています。

育児に悩む親たちに対し、「育児に正解はありません！だから迷ってあたりまえ！」「初めてのことでだからわからない！だから悩んであたりまえ！」を合い言葉に那覇市が取り組む事業、それが「つどいの広場事業」です。

子育てにあたり——大家族が当然の時代は、子育て経験のある先輩世代が同居しており、子どもの体調変化などに対し、適切に対応することが可能でした。しかし、現在の我が国社会では核家族化が進行し、地域とのつながりが希薄になってきていることから、子育て世帯の負担感が増えています。

子育てにあたり——大家族が当然の時代は、子育て経験のある先輩世代が同居しており、子どもの体調変化などに対し、適切に対応することが可能でした。しかし、現在の我が国社会では核家族化が進行し、地域とのつながりが希薄になってきていることから、子育て世帯の負担感が増えています。

子育てにあたり——大家族が当然の時代は、子育て経験のある先輩世代が同居しており、子どもの体調変化などに対し、適切に対応することが可能でした。しかし、現在の我が国社会では核家族化が進行し、地域とのつながりが希薄になってきていることから、子育て世帯の負担感が増えています。

#### 平成22年度つどいの広場事業実施状況

施設名	開設日	場所・住所	実施形態	運営概要
つどいの広場 わくわく	H18年 1月23日	栄町市場内 〒902-0067 那覇市安里381番地	地域子育て支援拠点事業 (ひろば型)	直営 ・子育て応援課育成環境G ・担当職員(1+4)
つどいの広場 さんさん	H20年 4月1日	金城児童館内 〒901-0155 那覇市金城3-4-5	地域子育て支援拠点事業 (児童館型)	業務委託 ・民間(指定管理)導入児童館にて実施 ・委託先：那覇市社会福祉協議会
つどいの広場 びよびよ	H20年 4月1日	安謝児童館内 〒900-0003 那覇市安謝2-15-2	地域子育て支援拠点事業 (児童館型)	業務委託 ・民間(指定管理)導入児童館にて実施 ・委託先：日本赤十字社沖縄県支部
つどいの広場 ここにこ	H20年 4月1日	古波蔵児童館内 〒900-0024 那覇市古波蔵4-7-7	地域子育て支援拠点事業 (児童館型)	業務委託 ・民間(指定管理)導入児童館にて実施 ・委託先：社会福祉法人ポプラ福祉会
つどいの広場 ほのぼの	H21年 4月1日	小椋児童館内 〒901-0152 那覇市小椋5-4-2	地域子育て支援拠点事業 (児童館型)	業務委託 ・民間(指定管理)導入児童館にて実施 ・委託先：那覇市社会福祉協議会
つどいの広場 ランラン	H21年 4月1日	識名児童館内 〒902-0078 那覇市識名2-5-5	地域子育て支援拠点事業 (児童館型)	業務委託 ・民間(指定管理)導入児童館にて実施 ・委託先：那覇市社会福祉協議会
つどいの広場 てくてく	H22年 4月1日	大名児童館内 〒903-0802 那覇市首里大名町2-75	地域子育て支援拠点事業 (ひろば型)	業務委託 ・協働のまちづくり推進により実施 ・委託先：子育て応援キャラバン隊などは広く

つどいの広場事業のうち、2施設は「ひろば型」として5施設は「児童館型」として展開されています。ひろば型は、常設のひろばを開設し、保護者と概ね3歳未満の児童が気軽に集い語り合い、相互に交流を図る場の提供を目的とするもの。実施する施設は「公共施設内のスペース」「商店街の空き店舗や民家、アパートの一室」などとし、概ね10組の子育て親子が一度に利用しても差し支えない広さを有することとされています。

【3面へ続く】

【2面から続く】  
てアドバイザー」が置かれ、非常勤職員として業務に従事することとされています。アドバイザーは市の担当部署の指示に従い、▽子育て親子の交流、集いの場にて遊びの方法を提供▽子育てに関する相談、援助の実施▽地域の子育て関連情報の提供▽子育て及び子育て支援に関する講習の実施——などについて従事するとされています。アドバイザーの勤務時間は1日6時間。週2日・3日・4日の別があり、ローテーションで勤務することとされています。

# つどいの広場わくわく

那覇市が国の地域子育て支援拠点事業実施要綱に基づき、「那覇市つどいの広場事業実施要綱」「つどいの広場子育てアドバイザー就労要綱」を策定し、ひろば事業をスタートさせたのが平成17年度のこと。施設開設のトップを切って運営を開始した施設が、市の直営による「つどいの広場わくわく(ひろば型)」でした。

事業スタート時のひろば設置に関しては、商店街の活性化(空き店舗の活用)を図ることや、立地場所(公設市場内)、交通アクセスの利便性、公共的施設の配置状況(地域的集積度が高い)などを勘案し、子育ての拠点施設として多様な支援策を展開できるものと判断。関係機関との連携により、利用者の実態に応じた支援内容を展開した結果、利用者は年を追うごとに増加するとともに住民の反応も良



つどいの広場わくわくの正面

好で、高い事業効果が得られています。

昨今の地域事情や子育て環



つどいの広場わくわくは商店街の一角に設置されている

「つどいの広場 わくわく」利用人数実績表(平成17年度～)

	開所日数						利用人数					
	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	17年度
4月	25	25	25	24	20		450	527	826	321	333	
5月	22	23	24	24	20		596	483	661	563	344	
6月	25	25	24	25	21		383	466	735	807	327	
7月	26	26	26	25	20		310	658	693	669	402	
8月		26	26	27	23			507	648	730	478	
9月		23	24	23	20			381	581	682	525	
10月		26	26	26	21			399	751	772	711	
11月		23	22	24	20			404	604	612	530	
12月		25	23	23	20			428	648	658	573	
1月		23	23	23	19	7		325	602	666	558	74
2月		23	24	24	19	20		306	564	657	633	182
3月		26	25	25	21	23		550	670	696	691	432
合計	98	294	292	293	244	50	1739	5434	7983	7833	6105	688

※平成17年度(平成18年1月)より事業スタート  
 ※平成17年度、18年度は週5日(月～金)開所  
 ※平成19年度より、週6日(月～土)開所  
 ©平成21年度は、新型インフルエンザ流行による、利用自粛や利用停止があり、利用者の大幅減となっています。

境の状況から、ひろば型2施設と児童館型5施設、つどいの広場としては合計7施設へと事業拡大を図ってきましたが、那覇市が掲げる最終目標は11施設。特定の利用者の頻度が高くなりつつあるなどの課題もあり、担当者の奮闘に期待が集まるそうです。

次のおおりの。「市場の方々から『かわいいね、何か月?』『おなまはなあーに?』とお子さんに声をかけてもらい、『うれしい!』という声を利用されている皆さんからよくきます。」

広場わくわくは、空き店舗活用の先進事例としての側面のほか、人との触れ合いを通じた地域コミュニティの活性化を図る側面もあります。しかし、それ以上に、様々な年代の方々から見守られ愛情を浴びて育つ子供らは、なによりも幸せといえるでしょう。

### 時の話題



## 卒業後3年新卒扱いを

### 新卒一括採用の弊害緩和

リーマンショック後の日本経済は一進一退を繰り返す状

況である。雇用情勢に限っていえば失業率は長期高止まりしている。とくに新卒者の就職難は「第二のロスジェネレーション」が生まれる危険が現実のものとなる水準に達しつつある。

そんな中、8月に日本学術会議が「卒業後最低3年間は

学生を新卒扱いとすべき」と提言。政府もこれを受け、各経済団体に同様の要請を行ったことが話題を集めている。

日本には卒業年次の学生をまとめて大量に採用する「新卒一括採用」慣行があり、景気後退期の卒業生が極端な就職難に陥ることが問題視されていた。「卒業後3年新卒扱い」が定着すれば、多少なりともこの弊害が緩和されることが期待される。企業側にとって

も、買い手市場の中で優秀な人材を採用するチャンスが拡大する。ただし、こうした提言、要請がただちに実効性をもつかは疑問である。労働市場の流動化がなかなか進まず、何より長期的な景気拡大が見込めない状況で、とくに大手企業が新卒者中心の採用方針を改める可能性は低い。今後補助金制度の導入などさらなる誘導施策が望まれる。

### 各市のニュースを募集

「全国市議会旬報」では、各市のニュースを募集しています。全国の自治体の中でも先進的な取り組み、議会活動、ユニークな条例、自慢のイベントなど、お寄せいただく情報のジャンルは問いません。ご提供いただいた情報につきましては、本紙編集担当職員が記事を作成し、議会ニュースあるいは市政ニュースとして紙面で紹介いたします。本紙をPRの場として活用されてみてはいかがでしょうか。(問合せ先) 全国市議会議長会調査広報部 旬報担当：松下・柴田まで 03(3262)2309

### 議事人事

- ▽議長 柳澤旨賢(11・18)
- ▽東御 薩摩川内 川畑善照(11・18)
- ▽見附 山田武正(11・19)
- ▽水見 久保健三(11・19)
- ▽笛吹 小林 始(11・22)
- ▽南あわじ 阿部計一(11・24)
- ▽青森 花田明仁(11・26)
- ▽蓮田 加藤昭司(11・26)
- ▽射水 梶谷幸三(11・29)
- ▽北茨城 村田仁人(11・29)
- ▽松戸 平林俊彦(11・29)
- ▽いなべ 水貝一道(11・29)
- ▽荊崎 嶋津鈴子(11・30)
- ▽南相馬 平田 武(12・1)
- ▽四国中央 大西 晁(12・1)
- ▽竹原 脇本茂紀(12・2)
- ▽副議長 長越修一(11・18)
- ▽江田島沖 也寸志(11・18)
- ▽薩摩川内 上野一誠(11・18)
- ▽見附 佐々木志津子(11・19)
- ▽水見 大門茂男(11・19)
- ▽笛吹 渡邊清美(11・22)
- ▽南あわじ 森上祐治(11・24)
- ▽青森 仲谷良子(11・26)
- ▽蓮田 山口博史(11・26)
- ▽泉南 原 憂子(11・26)
- ▽射水 竹内美津子(11・29)
- ▽松戸 大井知敏(11・29)
- ▽いなべ 小林昌彦(11・29)
- ▽荊崎 横森宏尹(11・30)
- ▽南相馬 西 一信(12・1)
- ▽四国中央 進藤 武(12・1)
- ▽竹原 北元 豊(12・2)

### 行事予定

- ▽2月1日 産業経済委員会 正副委員長会議(午前11時半、幸手市)
- ▽2月2日 産業経済委員会 委員会(午後1時半、全国都市会館)
- ▽2月3日 全国市議会議長会 基地協議会(午後2時半、日本都市センター会館)
- ▽2月7日 国会対策委員会 正副委員長会議(午後12時半、全国都市会館)・委員会(午後2時半、同)
- ▽2月8日 地方行政委員会 委員会(午後2時、ルポール翅町)
- ▽2月8日 全国市議会議長会 相談役会議(午後3時半、全国都市会館)
- ▽2月9日 全国市議会議長会 部会長会議(午前10時、全国都市会館)・理事会(午前11時、同)・評議員会(午後1時半、日本都市センター会館)
- ▽2月10日 市議会議員共済会 理事会(午前10時半、日本都市センター会館)・代議員会(午後1時半、同)
- ▽2月10日 地方財政委員会 委員会(午後2時半、全国都市会館)
- ▽2月15日 社会文教委員会 正副委員長会議(午後3時、横手市)

- ▽2月16日 広域行政圏市議会協議会 正副会長・監事 相談役会議(午前11時半、九段会館)・総会(午後1時半、同)
- ▽2月17日 全国高速自動車道市議会協議会 理事会(午後1時、日本都市センター会館)・総会(午後2時、同)



市町村議会議員のための 情報誌・研修誌 月刊「地方議会人」 議員活動にぜひお役立てください。

体裁 A4判 68頁 定価 660円(送料・税込) 年間購読料 7,920円

発行元(株)中央文化社 TEL 03-3264-2520 FAX 03-3264-2867 http://www2.odn.ne.jp/chuoubunkasha/